

野田義成先生追悼礼拝は参列者、教職員、生徒合わせて 270名以上の列席で守られました！！

11月2日（土）15:00より、遺愛学院講堂で行われた野田義成先生追悼礼拝は、工藤寿樹函館市長をはじめ教育関係者、日米協会関係者、教会関係者、遺愛学院理事・評議員、旧教職員、同窓生など112名、生徒・教職員約160名、あわせて270名以上の列席で厳かに守られました。

追悼礼拝は、水田真木子音学科主任のパイプオルガン演奏で始まり、奉楽として中学ハンドベルクワイアと中高音楽部（聖歌隊）による『As the Deer』が演奏されました。司式は森野真理宗教主任、説教は日本基督教団七飯教会主任牧師の鳴海としゑ牧師が務めて下さいました。

礼拝終了後は、増田宣泰遺愛学院事務局長と出川悦子前同窓会長に思い出を語っていただき、遺族を代表して奥様の野田純子様にご挨拶がありました。

第2部として追悼コンサートがあり、ハンドベルクワイア「Songs of Praise」（祈りの歌）・音楽部「Quando corpus morietur」（我が肉体が死する時）・高校吹奏楽局「ふるさと」「アメージンググレース」の演奏がありました。そして、最後に出席者全員で献花を行いました。出席して下さいました方々からは、口々にとても良い会でしたとお褒めの言葉を頂戴しました。また、野田純子様と2人のお嬢様もとても喜んで下さいました。

野田義成先生は、道立高校に校長・教頭時代もあわせて38年間勤務され、遺愛には理事長・校長・園長として20年も勤務して下さいました。その間、とても素晴らしい働きをされてきましたので、遺愛学院では、叙勲に値するのではと話をもち掛けたことが2度、3度あったのですが、野田先生は頑なに固辞されておりました。信仰に基づいた「天に宝を積む」（マタイによる福音書6章19-20節）ことを大切になさっていたようです。

2019年11月5日（火）

